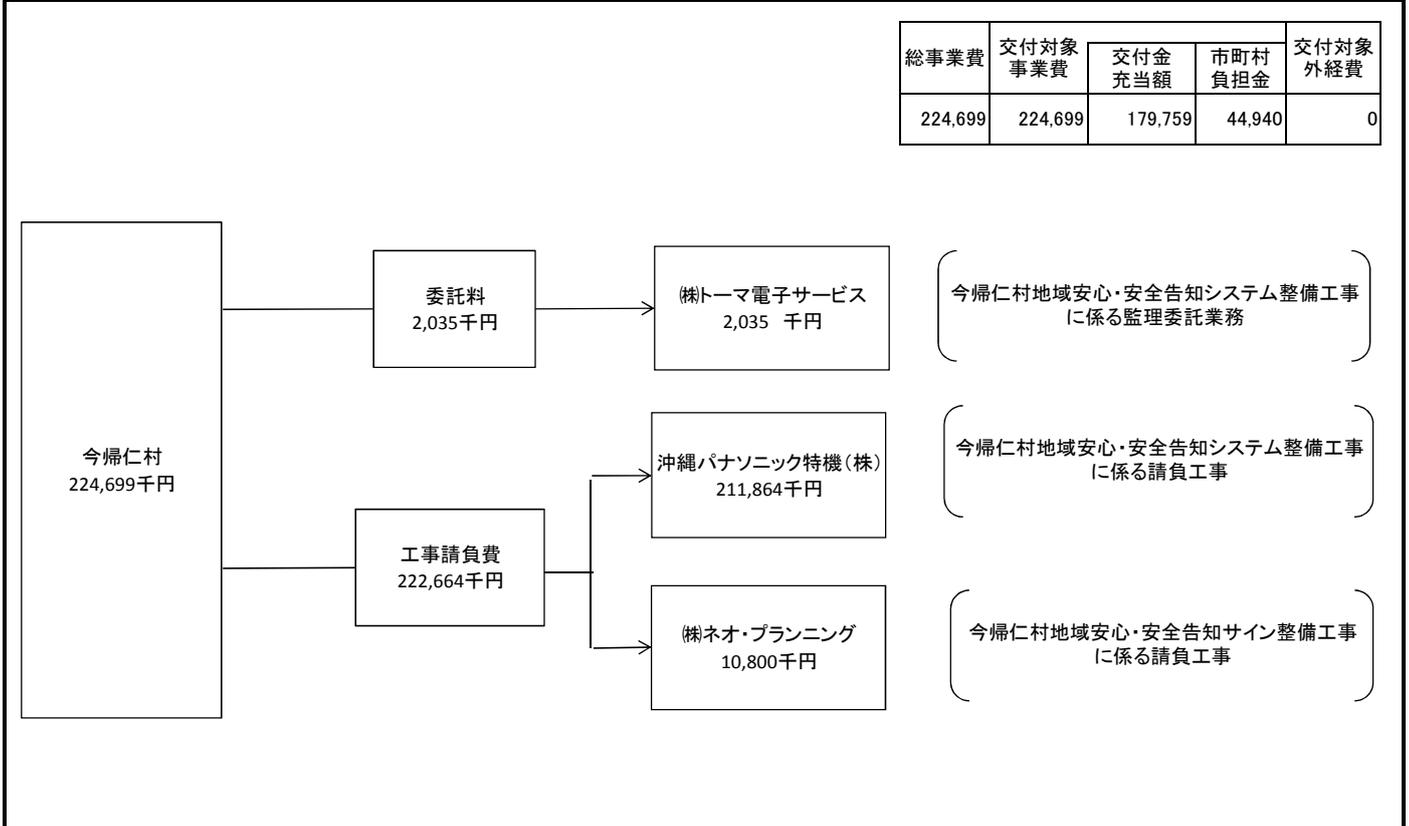


市町村名		今帰仁村						
平成26年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	今帰仁村地域安心・安全告知整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ			
担当部署名	総務課	事業実施（予定）年度	平成25～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくり防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)			
事業内容	・近年では、地震発生・集中雨の頻発による土砂災害への懸念や津波による大規模災害も想定されることから、緊急性の高い情報の伝達、予測段階（注意喚起）での活用、また行政情報等の住民への伝達など防災情報に特化せず幅広く活用するための情報伝達手段を整備する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,250	226,800				
		(b) 予算現額	5,197	226,800				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 53	0				
		(d) 前年度繰越額	-	0	10,960			
		A. 計 (b+d)	5,197	226,800	10,960			
	B. 執行済額		5,197	215,840	8,859			
	うち交付金充当額		4,157	172,672	7,087			
	次年度繰越額		0	10,960	0			
	執行率（%）(B/A)		100.0%	95.2%	80.8%			
予算の状況の説明		・予算執行残が発生しているが、入札結果によるものであり予定していた事業はすべて完了した。 ・当事業で整備するデジタル同報系無線設備を沖縄県消防通信指令施設運営協議会の中継局舎（2月完成予定）と共用する計画であったが、同協議会の事業完了が4月に遅延となるため、年度内の設置完了が困難となり繰越を行った。						
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況					
			25年度	26年度	27年度	28年度		
	・行政情報等の住民への伝達手段の整備の実施	目標	（構築調査・19行政区・小学校3校・中学校1校）	（伝達手段の整備の実施）				
		実績	構築調査・19行政区・小学校3校・中学校1校	情報伝達手段の整備 19行政区 小学校3校 中学校1校				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
	実績							
達成状況説明		・平成25年度の調査設計をもとに、ピクトグラム等による情報伝達及び音による情報伝達の整備を行った。ピクトグラム等による情報伝達は、避難施設表示板及び避難施設誘導表示板の工事を行った。音による情報伝達は、冗長化されたデジタル無線設備の構築（親局2 中継局 屋外子局51 戸別受信機）と、同システムの安定稼働確保のための発電機設備の整備工事を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）	
	・効果的な情報伝達システム構築（19行政区 小学校3校 中学校1校）	目標	（ ）	（構築調査・19行政区・小学校3校・中学校1校）	システム構築 ・19行政区 ・小学校3校 ・中学校1校			
		実績		構築調査・19行政区・小学校3校・中学校1校	システム構築 19行政区 小学校3校 中学校1校			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
			実績					
進捗状況説明		・ピクトグラム等による情報伝達及び音による情報伝達の整備が完了した。ピクトグラム等による情報伝達は、蓄光素材を使用した避難施設表示板（34箇所）及び避難施設誘導表示板（3箇所）の設置を行った。音による情報伝達は、冗長化されたデジタル無線設備の構築（親局2 中継局 屋外子局51 戸別受信機）と、同システムの安定稼働確保のための発電機設備（72時間連続稼働可能）の整備を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・音による情報伝達において、スピーカーに対する距離等によって、発信される情報は騒音として認識される場合もあり、よって、発信される情報を住民へ徹底した周知が必要である。</p>	<p>・情報伝達について、現在の屋外スピーカーだけではなく、情報を受ける側に寄り添ったよりきめ細かい対応が出来るメディアを検討する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・構築した情報伝達システムを活用し、迅速・正確な情報を提供できるような体制構築と同時に、地域と連携したマンパワーの育成にも努力する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○一般競争入札による業者を選定し事業を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業実施にあたり業者選定は、全て入札で行っている。予算の範囲内で事業が完了しているので適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	今帰仁村
------	------

平成26年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-①	地域活動拠点活性化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(7)-イ
担当部署名	総務課	事業実施（予定）年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				交流と共創による農山漁村の活性化 Ⅲ-1-(1)

事業内容
 ・玉城地区は、県道72号線が通って北部市街地の名護市へアクセスルートが便利な地域である。今後も地域住民の交流の場として利用できる施設が必要であり、かつ各種行事・伝統芸能（芸能祭等）の練習や料理講習、さらに都市及び観光客とも交流できる拠点としての施設を整備する。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

		26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	(a) 当初予算額	78,324			
		(b) 予算現額	81,999			
		(c) 増減額 (b-a)	3,675			
		(d) 前年度繰越額	0	16,464		
		A. 計 (b+d)	81,999	16,464		
		B. 執行済額	65,535	16,463		
		うち交付金充当額	43,690	10,976		
		次年度繰越額	16,464	—		
		執行率（％）(B/A)	79.9%	100.0%		
		予算の状況の説明	・予算3,675千円の増額は、実施設計による工事費の増である。 ・建築工事の施工にあたり、型枠工の工事期間が集中し、労働者の手配調整に予想以上の時間が必要となり、その対応に不測の日数を要し繰越を行った。			

活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）	達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度
		・地域活動拠点施設の設計及び建築工事の実施	目標	実施設計・建築工事の実施		()
	実績	実施設計・建築工事の完成				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	・地域活動拠点施設については、実施設計及び建築工事を予定どおり実施した。					

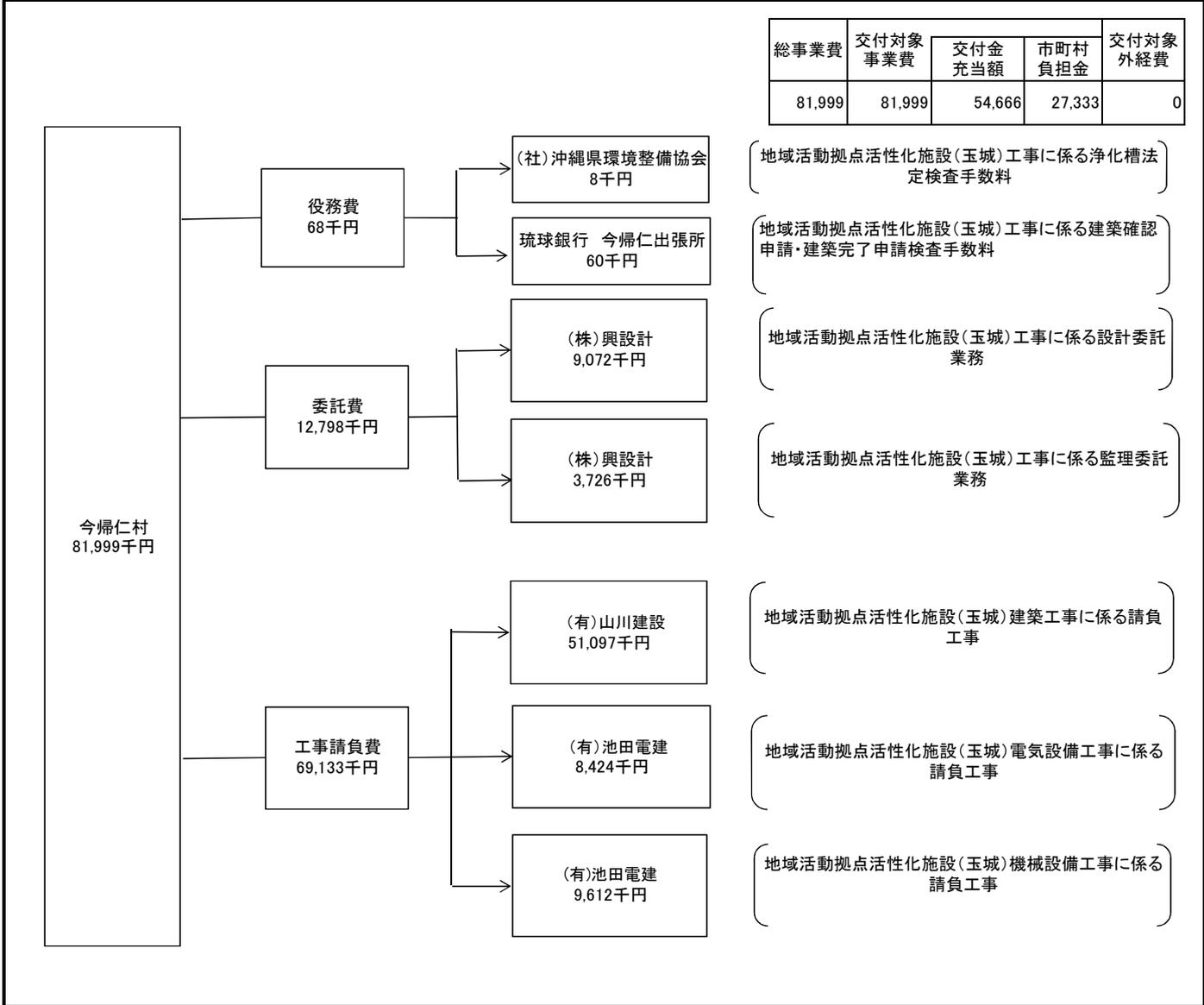
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）
			・地域活動拠点施設の完成	目標	()	地域活動拠点施設の完成	
		実績		地域活動拠点施設の完成			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・地域活動拠点活性化施設（面積229.69㎡）が完成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・地域住民の交流の場でもあり各種行事、伝統芸能(芸能祭)の練習や料理講習及び観光客とも交流のできる拠点施設としての、PR及び利用率の推進を図る必要がある。</p>	<p>・地域住民の交流の拠点施設としての基盤強化に伴い、今後は、地域の各種行事、伝統芸能等の推進を図りつつ、適正な施設管理に努める必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・地域住民の交流の場としての拠点施設の完成に伴い、今後は、住民及び観光客等が常に快適に利用できるように、適正な施設管理及び運営を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者及び工事請負業者は、指名競争入札方式で選定し、適切に執行した。</p> <p>○予算規模につきましては、設計時点の工事費の増額(3,675千円)を行ったが、適正な規模であり適正な執行ができたと考えている。</p> <p>○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	